

令和7年2月1日現在の世帯数と人口

(千種区 18.18Km²)

学区名	世帯数	人 口			対前月増減	
		総数	男	女	世帯数	人口
1 千 種	6,042	9,488	4,760	4,728	12	25
2 千 石	4,278	6,980	3,493	3,487	△ 4	1
3 内 山	5,938	8,144	4,380	3,764	3	2
4 大 和	3,693	6,718	3,336	3,382	0	△ 4
5 上 野	7,535	15,347	7,494	7,853	△ 8	△ 35
6 高 見	7,606	13,480	6,399	7,081	6	15
7 春 岡	7,391	11,293	5,994	5,299	34	31
8 田 代	11,431	21,957	10,524	11,433	21	5
9 東 山	10,430	19,020	9,280	9,740	△ 1	14
10 見 付	4,577	8,401	4,234	4,167	△ 9	△ 30
11 星 ケ 丘	3,632	6,840	3,034	3,806	△ 6	△ 24
12 自 由 ケ 丘	3,555	7,066	3,190	3,876	△ 5	△ 21
13 富 士 見 台	6,531	14,967	6,800	8,167	6	△ 16
14 宮 根	3,824	7,879	3,634	4,245	5	△ 9
15 千 代 田 橋	3,784	8,081	3,778	4,303	△ 1	△ 17
千 種 区 計	90,247	165,661	80,330	85,331	53	△ 63
R6. 2. 1	88,857	165,108	80,120	84,988	2	△ 32
対 前 年 比	1390	553	210	343	51	△ 31
名 古 屋 市	1,177,191	2,331,413	1,144,190	1,187,223	341	△ 741
愛 知 県 (R7. 1. 1)	3,372,687	7,461,111	3,714,755	3,746,356	△ 302	△ 3,299

前月中の 増減内訳	自然動態			社会動態		
	出 生	死 亡	自然増減	転 入	転 出	社会増減
	75	220	△ 145	837	755	82

【参考】

国勢調査千種区人口				これまでの最大人口と最小人口(千種区)	
昭和60年	163,762	平成17年	153,118	最大人口	173,598(昭和50年2月1日)
平成2年	156,478	平成22年	160,015	最小人口	146,727(平成11年4月1日)
平成7年	148,847	平成27年	164,696		
平成12年	148,537	令和2年	165,245		

注) 学区別の世帯数と人口は、令和2年国勢調査結果の本市独自集計速報値であり、後日総務省から公表される数値と異なる場合があります。

千種区の住宅の建て方、構造、所有の関係

今回は先月に引き続き、5年ごとに実施されている住宅土地・統計調査の令和5年調査結果から、住宅の建て方、構造、所有の関係についてみていきます。

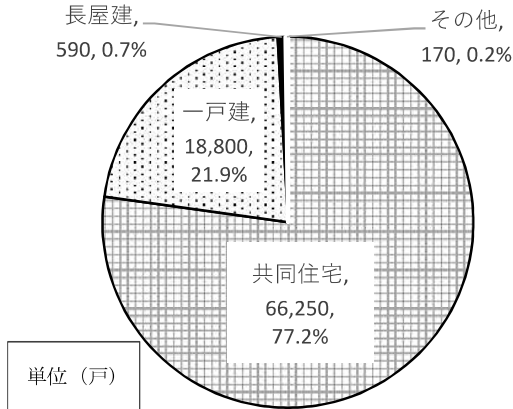


図1 住宅の建て方別

住宅の建て方をみてみますと(図1)、共同住宅は66,250戸で建て方別の約77.2%を占めています。千種区は共同住宅の割合が、中区95.4%、東区85.1%に次いで3番目となっています。一戸建は18,800戸で約21.9%を占めています。一戸建の割合では緑区51.0%、守山区45.4%で千種区は14番目となっています。

名古屋市中心部で共同住宅の割合が高く、市の東部で一戸建の割合が高くなっています。

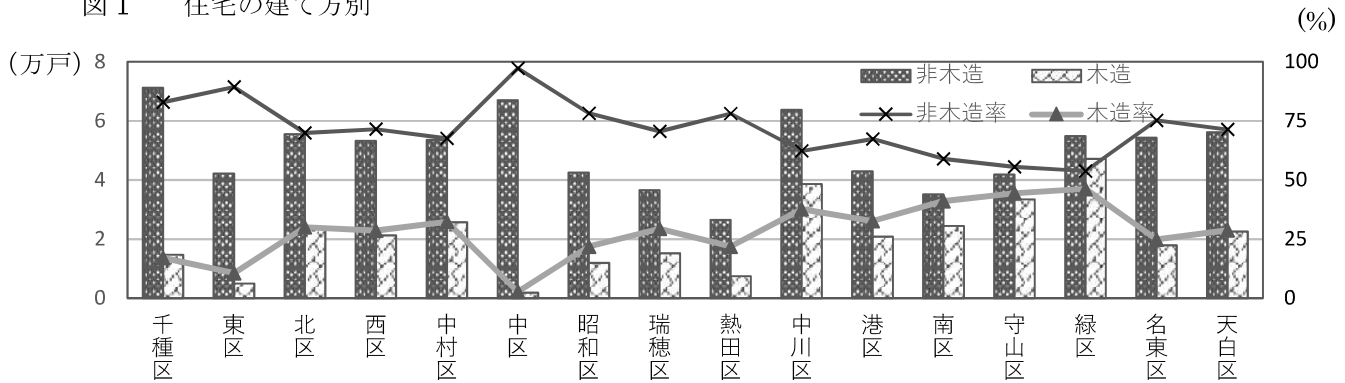


図2 住宅の構造 (非木造・木造)

次に構造についてみてみますと(図2)、千種区の非木造の住宅数は71,140戸、木造の住宅数は14,680戸です。割合は82.9%と17.1%です。千種区は非木造の住宅数が全区で1番多くなっています。非木造の割合では中区97.3%、東区89.4%に次いで千種区は3番目となっています。

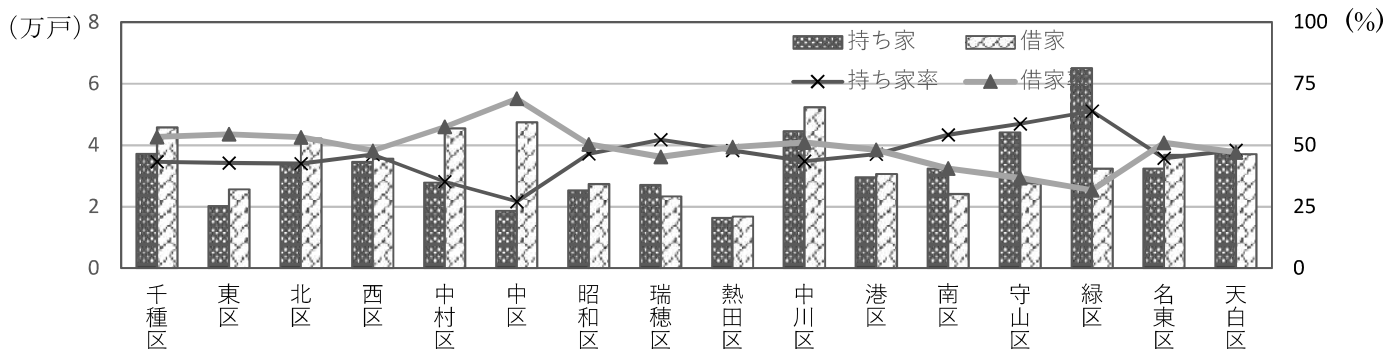


図3 住宅の所有の関係 (借家・持ち家)

最後に所有の関係についてみてみますと(図3)、借家の住宅数は45,760戸、持ち家の住宅数は37,160戸です。割合は53.3%と43.3%です。千種区は借家の住宅数が、中川区52,280戸、中区47,450戸に次いで3番目となっています。